

SDS 製品情報シート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 3-6301-02 デジタル生物顕微鏡 付属油浸オイル
製品コード (2-9503-01)
供給者の会社名称 アズワン株式会社
住所 大阪市西区江戸堀2丁目1-27
担当部門 品質保証部エビデンス管理グループ
電話番号 06-6447-8614
FAX番号 06-6447-8664

2. 危険有害性の要約
2-1) GHS分類区分

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:蒸気)	区分外
	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分1
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2(腎臓)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2(肝臓、副腎)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分2
	水生環境有害性(長期間)	区分2
	オゾン層への有害性	分類できない

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外

2-2) GHSラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語
危険有害性情報

警告
アレルギー性皮膚炎反応を起こすおそれ
臓器障害のおそれ(腎臓)
長期にわたる、または反復曝露における臓器の障害のおそれ(肝臓、副腎)

注意書き
安全対策

長期継続的に、水生生物に影響

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。

応急措置

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
皮膚に付着した場合、大量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用の場合は洗濯すること。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察／手当を受けること。

曝露または曝露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
曝露または曝露の懸念がある場合、気分が悪いときは、医師の診察／手当を受けること。

保管
廃棄

吐出物を回収すること。
施錠して保管すること。
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

他の危険有害性

本製品は可燃性であるが、容易に着火しない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (wt%)	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
1-フェニル-1-(3,4-ジメチルフェニル)エタン	約40	C16H18	(4)-244	既存	6196-95-8
1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン		C16H18	(4)-244	既存	6165-51-1
1-フェニル-1-(2,4-キシリル)エタン		C16H18	(4)-244	既存	6165-52-2
エチル(フェニルエチル)ベンゼン		C16H18	-	既存	68000-83-5
その他(非有害物)非開示	約60	-	-	既存	-

分類に寄与する不純物及び安定化添加剤

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに、皮膚を流水と石鹼で洗浄すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
清浄な水で15分間以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
口をすすぐこと。
直ちに吐き出させ、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

情報なし
急性症状: 情報なし
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

その他の措置

予想される急性および
遅発性症状

最も重要な兆候症状

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、ドライケミカル
棒状水。拡散のおそれ。
可燃性: 本製品は燃えるが容易に発火しない。
燃焼により毒性ガス・ヒュームを発生することがある。
危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
初期火災の場合、二酸化炭素、粉末消火剤などを用いる。
大火災の場合、泡消火器などで空気を遮断する。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなどを着用する。

特有の消火方法

消火活動を行う者の特別
な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

風上に留まる。
作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。
必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
危険でなければ漏れを止める。
少量の流出の場合、ウエス、乾燥土、おがくずなどに吸収し、密閉容器に回収し廃棄する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法
及び機材

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

局所廃棄・全体換気

安全取扱注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
火花を発生させない工具を使用すること。
全体換気を行う。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
『10. 安定性及び反応性』を参照。
施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

保管

安全な保管条件

8. ばく露防止及び保護措置		
管理濃度		設定なし
許容濃度		設定なし
設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置す 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。 耐油性保護手袋を着用すること。 保護眼鏡、保護面を着用すること。 保護衣を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		
形状		やや粘調な液体
色		無色透明
臭い		僅かな芳香族臭
融点／凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点 範囲		≥200℃（蒸留範囲）
可燃性		あり
爆発下限界及び爆発上限 上限 下限 界／可燃限界		データなし
引火点		154℃
自然発火点		≥300℃
分解温度		あり 詳細情報なし
pH		データなし
粘度		データなし
溶解度		水にほとんど不溶
n-オクタノール／水分配 係数		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		≥1.0（空気＝1）
比重(密度)		0.918g/cm ³ （at15℃）
流動点		-50℃
10. 安定性及び反応性		
反応性および化学的安定 性		本製品は通常および想定される取扱い、保管においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性		データなし
避けるべき条件		高温の表面、火花、裸火などの着火源 火源との接触。
混触危険物質		酸化剤。
危険有害な分解生成物		データなし
11. 有害性情報		
1-フェニル-1-(3,4-ジメチルフェニル)エタン、1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン.、1-フェニル-1-(2,4-キシリル) エタン、エチル(フェニルエチル)ベンゼン. の4混合物を「4物質混合物」と表記する。		
急性毒性	経口	製品データ ・Rats LD50>2000 mg/kg 成分データ(4物質混合物) ・Rats LD50>1940 mg/kg(male), 2200 mg/kg(female)
	経皮	データなし
	吸入:気体	データなし
	吸入:粉塵、ミスト	・Rats LC50>1.8 g/m ³
皮膚腐食性／皮膚刺激性		製品データ ・ヒトに対して皮膚への継続的または繰り返し接触により軽度の刺激性がある。 Rabbits:Mild irritating 成分データ(4物質混合物) Rabbits:Moderate irritating (Primary irritation Index 2.8)
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性		製品データ Rabbits:Minimum irritation 成分データ(4物質混合物) Rabbits:Not irritating
呼吸器感作性		データなし
皮膚感作性		製品データ ・ヒトに対して皮膚への継続的または繰り返し接触により、ごく軽度のアレルギー 性皮膚炎を起こすおそれがある。 成分データ(4物質混合物) モルモットの皮膚感作性試験(buehler method) 陰性 モルモットの皮膚感作性試験(GMPT) 陽性
生殖細胞変異原性		成分データ(4物質混合物) 陰性

発がん性		成分データ(4物質混合物) ラットの24か月間の試験において発がんおよび発がん助長の作用は認められなかった。
生殖毒性		成分データ(4物質混合物) マウスにおいて催奇形活性は認められなかった。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		成分データ(4物質混合物) 頭痛、めまい、吐き気を引き起こすおそれがある。 1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン。 ラットを用いた単回経口投与試験において1000mg/kg以上の用量レベルで体重の減少、2000mg/kg以上の用量レベルで腎臓への影響が認められた。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		成分データ 1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン。 生殖/発生毒性スクリーニング試験と組み合わせた反復投与毒性試験で、副腎、肝臓に影響が認められた。(成体ラットの経口投与試験) LOAEL=12.5mg/kg/day(male) LOAEL=200mg/kg/day(female)
吸引性呼吸器有害性 その他の情報		データなし 成分データ(4物質混合物) 1.5mg/kg/2daysの用量で投与したマウスにおける29日後の生物濃縮率:0.02%
12. 環境影響情報 生体毒性	水生環境有害性 急性有害性 長期間有害性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性	成分データ 1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン。 甲殻類(オオミジンコ) EC50=0.3mg/l/48hr データなし データなし データなし データなし 規制される成分を含まない
13. 廃棄上の注意 残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 本製品を含む廃液および洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄したりすることは避けること。
汚染容器及び包装		・関係法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 ・空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去する。
14. 輸送上の注意 14-1) 国際規制	国連分類 国連番号 品名 容器等級 海洋汚染物質 陸上輸送 海上輸送 航空輸送	クラス9 3082 Environmental hazardous substances.liquid, N.O.S Ⅲ 該当 ADR/RIDの規定に従う。 IMOの規定に従う。 ICO/IMTAの規定に従う。
14-2) 国内規制	陸上規制情報 海上規制情報 航空規制情報	消防法の従う。 船舶安全法に従う。 航空法に従う。
14-3) 緊急時対応措置指針番号		171
14-4) 特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 運搬の事故等により災害が発生した場合は、最寄りの消防及び関係機関に通報すること。重量物を上積しない。
15. 適用法令	化学物質の審査及び製造の規制に関する法律 消防法 労働安全衛生法 毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理推進法(PRTR法) 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律 航空法 船舶安全法	旧第2種、第3種監視化学物質(1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン) 危険物 第4類 第3石油類(非水溶性) 施行令 別表第1 危険物 4 引火性の物 施行令 別表第9 名称等を通知すべき危険物及び有害物 61 非該当 非該当 有害液体物質 Y類物質相当 規則第194条 その他の有害物件 有害性物質 危険則第2条第1項

16. その他の情報

参考文献:

Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th ed., 2009), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 17th edit. UN

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2012 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及

び安全データシート(SDS)」原材料／製品メーカー SDS

記載内容は現時点で入手出来た資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱いをお願いします。